

## 国立屏東商業技術学院での実習を終えて

姫路獨協大学 コン 孔 ヘヨン 蕙英

あっという間に4週間が過ぎてしまいました。先生の方々の情熱は今でも熱く感じられます。応用日本語学部での4週間の実習は、自分にとっては忘れることのできない素晴らしい経験でした。

今回の実習の目標はチームティーチングについて学ぶことでした。チームティーチングの授業方法は前から知っていましたが、それに対する自分の考え方は実習前と実習後、ビックリするくらい変わっています。その変化について整理してみたいと思います。

第1週目	毎日違う形式の授業が行われていて、分かりやすそうで分かりにくい部分が多い。一つの課を1週間を通して学習する。しかし、前に学習した項目の復習ばかりする授業もあるので、学習者にとっては負担が多い。一つの文型をしっかりと覚えさせるためには、1週間に1課だけを集中的に教えるほうがいい。
第2週目	文型の授業なのに、会話の練習が多かったり、会話の授業なのに文型の説明が多かったりする。同じ授業でも毎回違うスタイルで授業を行う。
第3週目	テキスト以外のプリント教材配布が多い。しかし、文型を練習するのに最適な副教材が多く、中でも教師自ら作り上げたものが多いので、実際に使えられる表現を学習することができる。また、プリントを配ると学生たちは姿勢を正して、改めて授業に取り掛かるようになる。
第4週目	授業に入る前は必ずテストを行うことによって学生に緊張感を与える。また、2週間に一度復習だけの授業を行うことによって、学生は語学力を積み上げていく。学生が分かっていないと判断された場合、会話の授業でも文型の説明を多く、文型の授業でも会話練習を多く取り入れる。担当された分野だけでなく、一週間の授業に対してバランスの良い授業になるように教師は互いに補足し合っている。

結果的に、ここのチームティーチングを理解するには、絶対に4週間が必要だったということです。名前だけのチームティーチングではない、本当のチームティーチングをみるのができたのです。

言語をチームティーチングで教えることは、珍しいことではありません。教師の得意を生かして、それぞれ異なる分野を担当することによって、学生たちはより分かりやすく学ぶことができます。単純に考えると、教師としても他の教師と協力し合うことができるので、チームティーチングが一番理想的な教授法かも知りません。しかし、チームティーチングをするには、教師の情熱・信頼・協力が不可欠の条件です。その上、チームティーチ

ングに加わる全ての教師は同じ大きさの情熱・信頼・協力がなくてはなりません。それぐ  
らい、チームティーチングを成功させるには、それぞれの教師の絶えない努力が絶対的に  
必要となる、一番難しい教授法だと思います。

今回の実習を通じて、先生方の素晴らしいチームワークに感動しました。きちんとした  
学習環境を築いた素晴らしい先生がいるこの学校の学生がうらやましいかぎりです。

日本語が母語ではない私にとって、今回の実習はかけがえのない貴重な経験でした。外  
国人でも日本語を教えることができるという夢をいただきました。難しいと言いながら、  
毎日一生懸命に話しかけてくれる学生たちから希望をいただきました。異なる母語話者が  
日本語を通じて一つになり、お互いの気持ちを伝え合うことができました。言葉では表現  
できないほどのたくさんのお話をいただきました。心から本当に感謝しております。

自分がいただいたことをみなさんに恩返しできるように、これからも頑張りたいと思  
います。私と同じ立場である学生のみなさんも頑張ってください。最後になりましたが、屏  
東商業技術学院の応用日本語学部で4週間実習させていただき、本当にありがとうございました。

轉眼間四週就這麼過去了。我現在依然能感受到老師們的熱情。在應用日語系這四週的實習，對我而言是個非常難忘的美好經驗。

這次的實習主要是要學習團隊教學。雖然我從以前就知道有關團隊教學的教法，但經過實習後我對團體教學方法的認知跟實習前有了很大的轉變。在此我想整理一下我對團隊教學的認知的轉變過程。

第一週	每天以不同的形式授課，看似易懂但還是有很多部分不太能理解。每一課用一週的時間來學習。但是，由於有的課會只做之前學過的東西的複習，所以對學生來說負擔有點重。為了讓學生能好好的記住一個句型，所以一週只集中教一課比較好。
第二週	雖然是教句型的課但是會做很多會話練習，而雖然是會話課但是也會做許多文法說明。雖然是同一堂課，但每次都會用不同方式上課。
第三週	會發許多課本以外的補充講義。但大多是很適合做句型練習用的補充教材。其中有許多是教師自製的教材所以能夠學到實用的句子。還有，用補充講義能使學生們更集中精神專注在課業學習。
第四週	透過上課前一定會有的小考讓學生們能稍微繃緊神經。然後，藉由二週進行一次課程複習的授課方式讓學生們漸漸累積語言能力。一旦發現學生無法理解授課內容時，即使是會話課也會做很多文法說明，相對的就算是講解句型的課也會做不少會話練習。老師們不單單只是教授自己負責課程內容的部分，老師們會對一整週的教學內容有不足的部分做互補以求做出最適切的授課。

最後我體認到要理解這裡的團隊教學，是需要四週的時間的。不是虛有其名的團隊教學，我確實見識到了名符其實的團隊教學過程。

使用團隊教學的方式來教授語言並不是什麼稀奇的事。它其實就是發揮每位教師的專長，各自擔任不同課程來讓學生們能更有效率的學習。單純的來看，老師們能相互的合作，這樣的團隊教學或許是最理想的教授法。但是，團隊教學需要教師們的教學熱情及教師們的相互信任以及相互協助才能成立。並且，每位加入團隊教學的老師們的教學熱情及相互信任、相互協助的比重必須都是一致的。而這種教學方式必須透過老師們不斷地努力才有辦法讓團隊教學成功，我認為它是最困難的一種教授法。

透過這次的實習，我對老師們合作無間的團隊教學感到十分感動。我很羨慕這間學校的學生能夠擁有為學生建造了這麼好的學習環境的老師。

對於日語不是母語的我來說，這次的實習是無可替代的寶貴經驗。讓我擁有就算不是日本人也能夠教日語的夢想。雖然一邊說日語很難但還是每天很努力的跟我交談的學生們，我從他們身上找到了希望。不同母語的我們透過日語進而相互理解，互相傳達對彼此的心意。我從大家身上獲得了許多難以用言語形容的經驗。我由衷地感謝大家。

往後我仍會努力加油以回報各位給我的種種。也請跟我同樣立場的同學們要加油。最後非常感謝屏東商業技術學院應用日語系給了我四週的實習機會。